







2025年の節分は2月2日、立春は2月3日です。節分は、江戸時代より以前は、各季節の始まり の日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日とされてきました。というのも、季節の変わり目には邪気(鬼) が生じると考えられており、それを追い払うために福豆(煎り大豆)をまきながら「鬼は外、福は内」 と声を出し年齢の数だけ(もしくは | つ多く)豆を食べる厄除けを行うという風習があります。

犬山成田山の豆まきは、本尊の不動明王の前では鬼も改心してしまうという言い伝えから「鬼は 外」は言わずに、「福は内」だけを繰り返すのが特徴です。皆さんのところにも「福は内」!



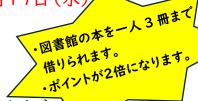
🍑 図書館からの大切なお知らせ

★年度末の貸出と返却について

- ◎ 3年生 貸出は2月14日(金)まで 最終返却日は2月28日(金)
- ◎ 1·2年生 貸出は3月5日(水)まで 最終返却日は3月19日(水)

★読書月間

◎ 2月12日(水)~3月14日(金) 1.2年のみ (2月19日(水)~2月28日(金)テスト週間のため除きます。)



リクエスト本も入りました。



「そういうゲーム」 ヨシタケシンスケ/著

『メメンとモリ』に続く、ヨシタケシンスケのもうひとつの世界。

毎日いろんなゲームをする。何があってもゲームをする。なぜならそういうゲームだから。 ヨシタケシンスケが描く、ゲームとしての日常が描かれています。



「ニュートン科学の学校シリーズ 海の学校」藤倉 克則/監修 科学雑誌『Newton』が贈る児童向けの書籍シリーズです。 海にまつわる知識や、生き物たちについての情報を紹介しています。



「最新オールカラー 電気自動車のしくみ」 森本 雅之/監修 電気自動車のメカニズム、取り巻く環境、未来がわかる!

この他にも、「架空犯」東野圭吾著、「龍神の雨」道尾秀介著、「はじまりはひとつのアイデアからー ディズニー、ナイキ、グーグル、レゴ」シコル,ローウィ・バンディ著など、30冊ほど入りました。

西中ライブラリー 第2弾

西中 LIBRARY

長谷川先生のおすすめ

「タモリのジャポニカロゴス」

山田良明/著

私たちが話している日本語。 正し

く使えていますか?

「わくわく」と「うきうき」

どちらがより待ち遠しいか

知っていますか?

わかりやすく解説されています。

西中 LIBRARY

内藤先生のおすすめ

「世界の名詩を読みかえす」

飯吉光夫/著

「本との出会いは人との出会い」 とよく耳にします。詩集は、いろん な人の価値や考え方の 違いをこえて、人として 心通う瞬間があります。

西中 LIBRARY

森島先生のおすすめ

「どちらかが彼女を殺した」

東野圭吾/著

東野圭吾さんの作品の中でもこの作品は推理しがいがあったり、 予想外の結果だったりして、

一番読みやすい上に、おもしろいと思います。

西中 LIBRARY

2-2のKさんのおすすめ

「誰が勇者を殺したか」

駄犬/著

勇者とパーティーを組んでいた騎士、 僧侶、賢者から語られる勇者の人 生から隠されていた真実が 明らかになるとき、

意外さ、感動を感じられます。

西中 LIBRARY

井戸先生のおすすめ

「そして、バトンは渡された」

瀬尾まいこ/著

登場人物がすごく素敵な人ばかりで、読んでいて心が温かくなる一冊です。映画化もされています。

西中 LIBRARY

三ツ口先生のおすすめ

「あんなにあんなに」

ヨシタケシンスケ/著「あんなに〇〇だったのに、もうこんな」、というリズムのいい言葉に、様々な感情が含まれていて、色々考えさせられます。本当に涙腺崩壊レベルです。

西中 LIBRARY

松浦先生のおすすめ

「星の王子様」

サン・テグジュペリ/著 「心で見えなければ物事はよく見 えないってこと。 大切なことは目に 見えないんだ」 このフレーズにとても

感動しました。

西中 LIBRARY

加藤先生のおすすめ

「ハリーポッターシリーズ」

J.K.ローリング/著

映画では語られていないような 主人公3人の関係や友情、絆の 深さがよく描かれていて、 映画好きな人にも

新たな発見が多いはずです。

西中 LIBRARY

若松先生のおすすめ

「夢の超特急」、走る!

―新幹線を作った男たち

碇義朗/著

計画から車両の設計、路線工事を経て、運転開始までのドキュメンタリー。そのへんの小説より遥かにドラマチックです。